

質問回答一覧

N o	項目（ページ数等）	質 問 内 容	横浜市回答
1	連携システムについて ・ 障害福祉システム、生活保護システム ・ 健康管理システム、福祉保健システム 横浜市児童家庭相談システム構築業務委託仕様書 3, 機能要件 3.2. 他システム連携要件 3.2.1. 庁内システムとの連携	>障害福祉システム、生活保護システム >健康管理システム、福祉保健システム 上記について、システム機能要件回答書の中に連携項目が無く、現時点でどの程度の情報を連携するのかお見積りが難しいと考えております。令和7年度の連携と同じ程度と考えればよろしいでしょうか。	障害福祉システム、生活保護システム、健康管理システム、福祉保健システムについては以下の標準化システムの基本データリストに相当する情報より必要な情報を連携することを想定しています。 横浜市現行システム名：標準化システム名 障害福祉システム：障害者福祉 生活保護システム：生活保護 健康管理システム：健康管理（母子保健） 福祉保健システム：児童手当、児童扶養手当 また、福祉保健システムについては以下の情報についても連携することを想定していますが、詳細については別途協議の上連携することを想定しています。 ・児童相談所業務 ・障害児施設給付費等に関する情報等 ・母子生活支援・助産施設情報
2	フォントについて 情報共有基盤 機能概要説明書	貴庁で外字を利用するフォントについて、特定メーカーが販売しているフォントの利用は無いという認識でよろしいでしょうか。 もし特定フォントの利用がある場合、弊社がシステムの試験を行う際に試験用にフォントをお借りしたいと考えておりますが、可能でしょうか。	文字要件については、仕様書の5.4.2.3.文字要件をご確認ください。 標準化システムとの連携に留意する必要はありますが、特定メーカーが販売するフォントの利用は想定しておりません。 外字の利用可否については別途設計フェーズにて協議することを想定しています。
3	ソフトライセンスについて	今回の入札では、システムは共通基盤内に構築すると考えておりますが、以下ソフトのライセンスについて情報共有基盤側で発行(用意)されるという認識でよろしいでしょうか。 ・ WindowsServerOSライセンス 4台 ・ SQLServerライセンス 2*4コア ・ Windows Server デバイスCAL 利用職員様人数分	ソフトライセンスについて提供できるものについては仕様書別紙仮想基盤サービス仕様書の2.1.サービス提供範囲及び、3.サービスメニューについてご確認ください。 具体的にはSQLサーバーライセンスについては提供されないため、必要であれば事業者にて購入が必要となります。
4	GPUサーバーの利用について	弊社提案システム内に音声認識機能を盛り込む場合、サーバー機にGPUが必要になりますが、共通基盤側での利用は可能でしょうか。 弊社推奨GPU：NVIDIA GeForce RTX 4090 ※NVIDIA製のGPUは必須となります	仮想基盤内でのGPU払い出しはできません。 GPUを利用する場合は、仮想基盤運用所管と調整の上、別途物理サーバを本市データセンター内に設置し、ネットワーク接続させる必要があります。そのため、当該機能を盛り込む場合は、物理サーバの設置・運用及び保守を含めた内容としてください。
5	提案評価表 P.5	「導入するシステムに関するデモンストレーションを行ってください。※本項目は提案本編に記載は不要です。」とあります。デモンストレーションの際に、職員様の手元資料としてパッケージの画面イメージ等の説明資料等についても特に提出不要との認識でよろしいでしょうか。	提案書とはみなしませんが、プレゼンテーションを補足する手元資料を用意することは妨げません。 （手元資料は必須ではありません。）
6	提案書作成要領 P.2	提案書に含める内容としてア～エの記載がありますが、P.3に提案書の書式について、100ページ以下とあります。こちらはアに記載される提案書本編のページ数の上限および書式という認識でよろしいでしょうか。	記載の認識のとおりです。 『P.3_2(3)提案書の書式』のイについては、『P.2_1(3)ア提案書本編（様式2）』のページ数上限です(100ページ以下)。 そのため、様式3、様式4及び様式5は上記のページ数上限には算入しません。
7	提案書作成要領 P.3	提案書の書式について、原則、横書きとし、フォントは10ポイント以上とあります。提案書本編に図式等を掲載したうえで説明する場合、図式内のフォントサイズは印刷した際に読み取ることができれば、10ポイント以下でもよろしいでしょうか。	本文については10ポイント以上としますが、提案書本編に図式等を掲載したうえで説明する場合、図式内のフォントサイズは印刷した際に読み取ることができれば、10ポイント以下でも構いません。
8	入札説明書 P.6 10落札者の決定	「イ入札者の入札額が予定価格を上回る金額の場合」とありますが、本業務にかかる予定価格をご教示いただけますでしょうか。	本案件については、価格点の評価の観点から、各事業者で決定する入札価格の決定の妨げにならないよう、予定価格は公表していません。
9	運用・保守業務仕様書P.5 2.7.利用者管理	「削除：不要となった利用者情報を削除すること。」とありますが、不要となった利用者情報のデータを削除すると、これまでの対応者として入力していた担当者のデータが削除されてしまいます。そのため、利用者情報を削除ではなく、マスタから無効とする対応でよろしいでしょうか。	削除方法については物理削除ではなく、論理削除で問題ありません。

質問回答一覧

N o	項目（ページ数等）	質 問 内 容	横浜市回答
10	運用・保守業務仕様書P.5 2.7.利用者管理	年度当初の担当者情報の更新作業について、更新する機能を提供することで職員様にて実施いただくことは可能でしょうか。	基本的には異動者のリストを受託者に提供し、受託者で実施することを想定しています。 ただし、簡易な方法を提供することで職員で実施することも検討します。更新機能についてどのようなものであるか、また職員にて実現可能であるかについては協議の上決定します。
11	運用・保守業務仕様書P.7 3.1.2.ソフトウェア保守体制	業務に支障がなければソフトウェア保守の各担当者と運用の各担当者を同一人物とすることは問題ございませんでしょうか。	運用、及び保守作業に問題の出る体制でない場合には同一人物として頂いて構いません。 但し、どちらの作業についてもその体制によって影響が出ないようにご留意願います。
12	構築業務委託仕様書 P.10 4.1.2 システム利用者	認証方法として二要素認証（ID・パスワード及び顔認証）とありますが、顔認証の主体認証につきましては、貴市でご利用するクライアント端末等、貴市にてご対応頂け、業務システムとしては、ID・パスワード認証を行う機能を実装していれば要件を満たしておりますでしょうか。	業務システムとしてID・パスワード認証を満たしていれば、当市の提供する端末を利用し二要素認証を行う事で問題ありません。
13	構築業務委託仕様書 P.11 4.1.4.3 サーバ	「このリソース内でサーバ環境を構築すること。仮想基盤から提供可能なリソースは下記に示す。」とあります。仮想サーバの台数（本番環境や検証環境含めた）はお示し頂いているリソースのトータル範囲内で割り当ていただくことが可能という理解でよろしいでしょうか。	問題ありません。
14	運用・保守業務仕様書、構築業務仕様書	本業務仕様書の内容と非機能要件一覧に同項目の記載がある場合、非機能要件一覧に記載される選択レベルに従った対応を行うということでよろしいでしょうか。 例：運用・保守性 監視情報について	問題ありません。
15	構築業務仕様書 P.13 ウイルス対策	ウイルス対策の要件について記載がありますが、今回情報共有基盤について、ウイルス対策ソフトが利用できる仕組みをご提供いただく認識です。貴市よりご提供いただけるウイルス対策ソフトウェアを踏まえて、要件については協議調整とさせていただきます認識でよろしいでしょうか。	問題ありません。
16	運用・保守業務仕様書 P.1	子ども青少年局、各区子ども家庭支援課、児童相談所及び一時保護所について、それぞれ、70台、510台、700台とあります。それぞれの箇所想定される同時接続クライアント端末数についてご教示願います。	子ども青少年局、各区子ども家庭支援課、児童相談所及び一時保護所について、それぞれ、70台、510台、700台を同時接続クライアント数とします。
17	構築業務委託仕様書 P.9	要保護児童の受信については機能要件一覧（共通機能要件）の10.他システム連携148のとおり、対象者番号を取り込むことという認識でよろしいでしょうか。	記載の認識のとおりです。
18	機能要件一覧（共通機能要件） No.150	「関連システムとの情報連携」について、関連システムとは構築業務委託仕様書のP.8～9に記載されるシステムとの情報連携の認識でよろしいでしょうか。また、No.150の（記録の取込を含む）については個別支援システムの受信を示しているという認識でよろしいでしょうか。	記載の認識のとおりです。
19	システム非機能要件回答書（様式5）の非機能タブ45行目	■外部保管データ ネットワーク経由でストレージへのリモートバックアップを含む 【注意事項】 A.3.2.1（保管場所分散度(外部保管データ)）と合わせて考慮し、整合するようにレベルを選択すること。 A.3.2.1は、災害対策として、地震、水害、テロ、火災などの大規模災害発生により被災した場合に備え、データ・プログラムを運用サイトと別の場所へ保管する。 遠隔地1ヶ所 とあります。 バックアップの頻度はどのくらいに想定いたせばよろしいでしょうか。	非機能要件を確認頂くと共に、仕様書別紙の仮想基盤サービス仕様書に規定されるLTOテープライブラリを利用した遠隔バックアップの項目（仮想基盤サービス仕様書P 1 1）をご確認ください。

※行が不足する場合には追加し記入してください。